

事業名 : 新温泉町多文化共生プロジェクト
団体名 : にほんご広場ハピタン

1 事業内容

日時 6/1~11/30

場所 新温泉町内各地区公民館

内容 外国人住民と地区の方々との交流活動

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6/1	打ち合わせ	サンシーホール	4
6/15	アウトドアカレーとホテル鑑賞会@久斗山地区	久斗山地区公民館	49
8/3	藍染め体験@赤崎地区	赤崎地区公民館	27
10/19	芋掘り(雨天の為中止)と各国のさつまいもスイーツ作り@諸寄地区	諸寄地区基幹センター	27
11/30	ちりめん細工体験とちやんこ鍋交流@久斗地区	大場村旧役場	47
11/30	反省会		5

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

日本語教室は、参加者の曜日ごとに分かれての活動になっているので、曜日の違う学習者同士は普段はなかなか交流する機会がない。今回は年間を通して町の様々な地区を訪ねることで、団体内の交流も図ることができた。

(2) 地域への波及

今回は日本語教室を飛び出して各地域を回ったことで、地域の方々にも「同じ地域に外国人住民が共に暮らしている」「労働者としてだけでなく、同じ町に暮らす仲間」という認識を少しでも持ってもらうことができたのではないだろうか。町内では、各地域の伝統的な行事なども後継者不足などで失われていっている現状がある。そのような中、20名あまりの外国人住民達の訪問は、地域に活力がみなぎるようである。10月の諸寄地域の活動では、予定には無かったが、たまたま公民館で傘踊りの練習をされている地域住民グループがおり飛び入りで見学させてもらった。外国人住民に踊りを教えていただき、思わぬところでも交流が広がる嬉しい場面があった。

3 協働の相手方

久斗山地区、赤崎地区、諸寄地区、久斗地区の地域住民と公民館：イベント運営の協力

子育てサークル「いちごくらぶ」：地域の親子へのイベント参加呼びかけの協力(11/30のイベントにて)

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

多文化共生事業は本来、行政が推し進めていくべきことであるが、多文化共生推進プランなどを策定している豊岡市など他の市町と比較し、新温泉町ではその意識が非常に乏しいという課題がある。現在、地域の多文化共生推進活動は、ボランティア団体であるにほんご広場ハピタンが担っている状況だ。そのため、今後も役場や町会議員などに働きかけながら、外国人住民が暮らしやすい地域になるよう活動を続けていく必要がある。

外国人住民は企業が借り上げた寮などで共同生活をしており、地域コミュニティに参加していない現状がある。彼らが同じ町に住みながら、今のように断絶している状態は、災害時などのリスクにもつながる。今後も外国人住民も住みやすい地域となるために、役場の生涯教育課をはじめ、各課とも協力しながら、多文化理解につながる活動を続けていきたい。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

但馬多文化共生ネットワークなどを通して、新温泉町だけでなく、但馬全域のボランティア団体と協働しながら、活動を拡大していく。また、今回は全公民館を回れていないので、来年度は、今回は回れていない地区にも訪れたい。



6年6月15日 アウトドアカレーとホテル鑑賞



6年8月3日 藍染め体験



6年10月19日 芋掘り国際交流(傘踊り練習)



6年11月30日 大福で国際交流